



クラブ会長
幹事殿控

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1996年7月20日 No.2

会員増強及び拡大月間 8月



R.I.会長ジアイ氏ご夫妻と松本ガバナー夫妻（カルガリー世界大会にて）



国際ロータリー第2760地区 ガバナー 松本 宏

〒475 愛知県半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所内 TEL0569-26-3800 FAX0569-26-3840

（ 会員増強と拡大こそ ロータリー活動の第一歩 ）

1996～'97年度国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松 本 宏

会員増強と拡大は、ロータリー活動を推進する上で必須の条件であります。ルイス・ジアイ RI会長は、1996-97年度プログラムの中に、「会員増強で未来を築こう」を掲げられて会員増強を強調されております。ロータリーに新会員と若い会員を推薦して、既存クラブに多様性と活力を加えることに努める必要があります。またこれと同様に、退会防止にも力を注ぐことが大切です。

会員増強は、クラブに合った方法で実践することが望ましく、都市と地方、クラブの大小差それぞれ内容の違うクラブが画一的な増強の方法では効果が上がらないと思います。要するに、そのクラブの実情に合った方法での増強が最良と存じます。

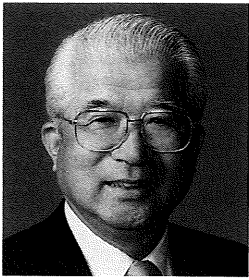
次に会員増強につきものなのは、「質か量か」の問題であります。ロータリーの真の発展を考えるならば、この質と量が全く同格であるべきで、それは例えるならば車の両輪のようなもので、常に均整がとれていてこそスムーズに前進することが出来るのです。若し一方が欠けたり、大小があっては正常な発展は望めません。量を

増やしながら質の向上を図ることが、ロータリーの真の発展に通ずるものと確信いたします。

拡大は多くのロータリアンの協力を得ることなくしては達成されません。その中でも特に重要な立場にあるのは、ガバナー、分区代理、会長、特別代表で、この4者のチームワークこそ拡大を促進させる原動力になると思います。

91年前にわずか4人で始まったロータリー運動が、現在約120万人の仲間を全世界に有するまでに発展したのは、良識あるロータリー哲学と奉仕活動が高く評価された結果でありまして、私たちはこの先輩の築かれた大いなる遺産を、さらに発展させなければなりません。ロータリーの持つ崇高なる理想を信じ、それに基づく奉仕活動を実践する私達ロータリアンにとって、会員増強と拡大こそロータリー活動の第一歩といえます。

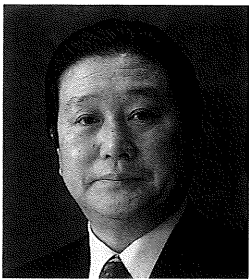
「会員増強および拡大月間」にあたり、地区会員の皆様に、増強拡大に、さらなるご協力をお願い申し上げます。



地区拡大委員会
委員長
鈴木 孝平

宮地ガバナー年度から蜂谷・石川・松本ガバナー年度まで四期に亘って拡大委員会を担当いたしますが、この間幸運にも名古屋西南RC、豊橋東RC、名古屋錦RCの誕生に関わらせていただきました。新クラブの設立に際して、いつも感動することは生みの苦しみに倍する喜びが常にあることです。新たに会員になられた方々は設立総会、チャーターナイト等に臨み、不慣れな中にも真剣に、そして純粋に事に当たってみえます。皆さん夫々功成り名遂げた人達と思いますが、何が彼らをそうさせるのか考えてみると、やはりロータリーが人を変えるところかと思えません。よく会員増強に際して「質か量か。」と

言う事が議論されますが、私は社会に認められた職業に就いている人で職場の中で責任ある立場にある人達は、全てロータリアンとして選ばれる資格があると考えます。国際ロータリーの拡大委員である鹿沼ロータリークラブの石原敬士君は「地球上の全ての人々がロータリアンになった社会を想像して下さい。どんなに世界中が平和で暮し良い社会になる事か。」と増強の重要性を訴えています。皆さんも経験があると思いますが、ロータリークラブに入会する前と何年かロータリアンとして活動したあとでは、その人格が随分向上した事にお気づきではないですか。そうです。ロータリークラブとは人格修練の場でもあります。男女を問わず幅広く各層から人材を掘り起して会員として推薦することが、我々ロータリアンの義務であります。特に新クラブの拡大については、これ以上有効な増強の手段はありません。可能性を追求して、計画を立案し勇気をもって実行していただく事をお願い申し上げて就任のご挨拶といたします。



地区会員増強委員会
委員長
上野 山 通

「8月は会員増強の月」です。ロータリークラブにとっては、この月だけが増強月間ではなくて、毎年、毎月、そしていつも増強活動は必要であります。近年世界の会員数は既存クラブでは減少傾向にあるそうです。会員が増加しているのは一部発展途上国や、クラブの拡大に負うところが大きいです。

今年度、ジアイ会長は「築け未来を、行動力と先見の眼で」とテーマを掲げられ、第2760地区松本ガバナーは「実践するロータリー、プラスワン」と宣言されました。従来の会員増強活動にもう一つの新しい活動を加えてくださいと言う事です。

新年度が始まり、新しいクラブ会長のリーダーシップと、新しい委員長の下でこの月間中には是非、会員増強に関するフォーラム(討論会)を行なってください。

テーマとしては

○新会員の獲得 ○新会員の同化

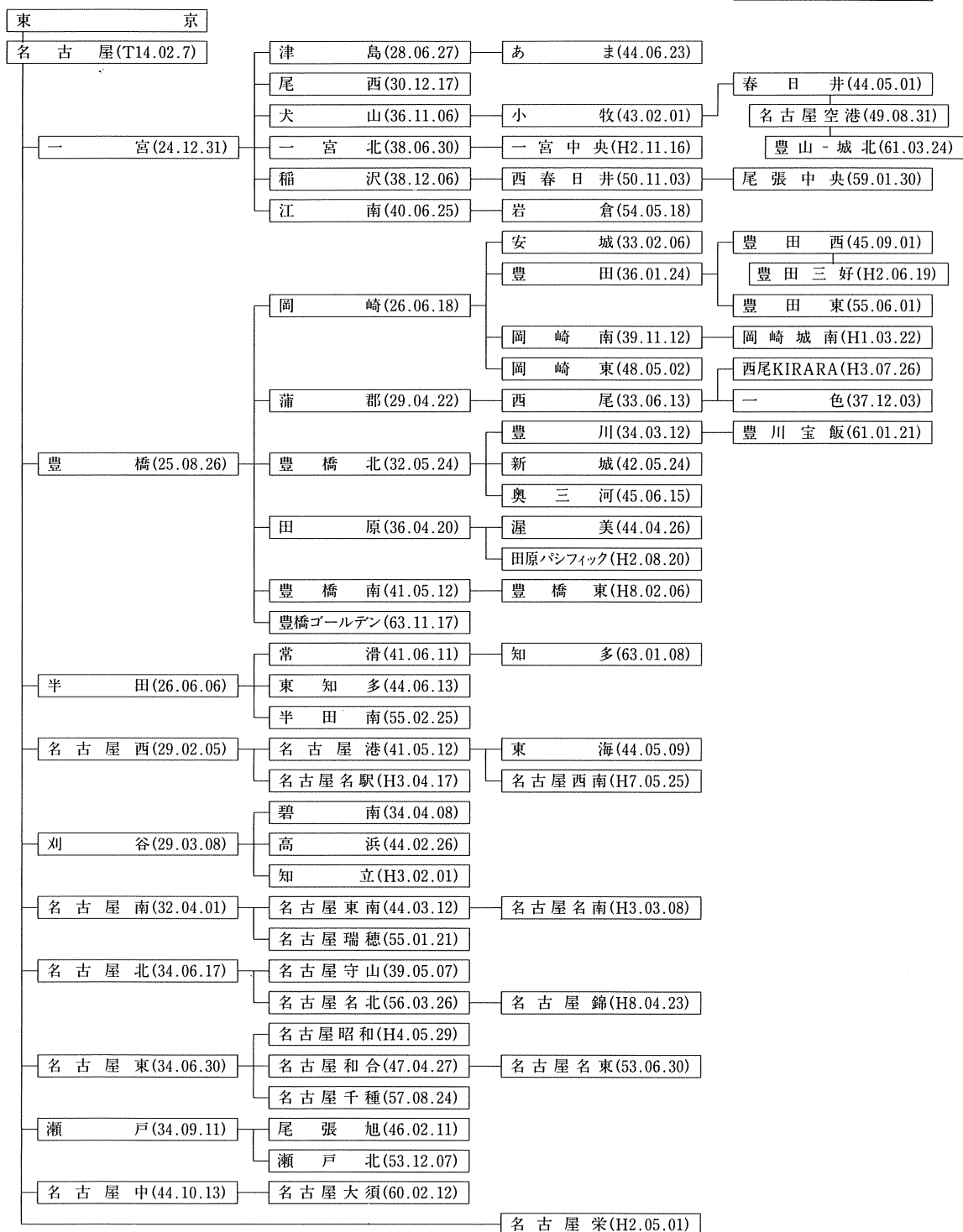
○退会防止 ○その他(クラブの適正会員数は、量か・質か、女性会員を迎えるには)

新会員の入会条件も昔に比べれば拡大緩和されてきました。例会出席義務も楽になってきました。しかしロータリーの目指すものや理念は変わっていないと思います。新会員推薦に当たって私達はいいいロータリアンになれる人を探すべきだと思います。あまり無理な条件を押し付けないでそれよりも新会員が早く同化してくれることこそ大切ではないでしょうか。

会員増強を語る時、必ず通る問題として「量か質か」と言う事がありますが、先輩に聞いた言葉が心に残っています。それは「量は質に変わり、質は量を伴う」と言うことです。

第2760地区 ロータリークラブ拡大表

()内数字は認証年月日



第87回国際ロータリー年次大会に参加して

カナダ、アルバータ州カルガリー（1996年6月23日～26日）

1996～'97年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松 本 宏



第87回国際ロータリー年次大会は、カナダ、アルバータ州、カルガリーにて、6月23日から26日まで、カナディアン航空サドルドームとスタンピード・パーク（カルガリー・エキスポジョン・アンド・スタンピード）を会場として開催されました。

23日第1回本会議及び大会開会式は参加者多数のため2回に分けて行われました。（登録者数24691名）我々日本のガバナー・ノミニ一行は2回目（20：00～22：30）に出席しました。先ずハー

ブ・ブラウン会長のテーマを祝賀するLet There Be Peace on Earthと呼ぶ前奏番組をもって開幕しました。次いで今年4才になる天才ピアニスト、ウェスリー・チューとカナダの子供合唱団、その他大勢の歌手、踊子、スケーター、楽団が出演。先ず開会宣言、歓迎の辞を1996年大会委員長ジャック・フォーレスト（米国）、お祈りの言葉と大会プログラムの採択をRI副会長リチャード・スレイガー（米国）が行い、ロータリー加盟国の国旗入場式、これは大会史上初めて、

氷の上を、カルガリー・アイススケート団のメンバーが、旗手となって入場しました。カナダ国旗掲揚、米国国歌演奏、カルガリー聖火の点灯について、カナダ国総督ロメオ・ラブラン閣下が歓迎の辞を述べられました。次いで国際ロータリー会長ハーバードG・ブラウン氏が歓迎の辞として、次のように話されました。

「ロータリアンは、87年にわたり、年次総会を開いて、その年の成果を語り、将来の奉仕についての抱負を分かち合うために会合しています。毎年新しいロータリー行事が加えられ、賞賛されるべき進展が見られ、新しい朋友ロータリアンと出会い、新しいホスト市を探索します。その大会が世界の何処で開催されても、常に会場に溢れているのは、ロータリーの基盤である会員同士の親睦です。年次大会は、国境を越え、文化の相違を克服して、その年の出来事を話し合い、旧友との再会を楽しみ、新しい友情を結び合う会合です。

私たちは全世界にわたる家族をなし、この大会は、その大家族の懇親会とも言えます。本大会は、特に老若男女を問わず家族全員が楽しめるように企画されています。その中には、若い人たちが著明な動機づけの講演者の話を聞き、余興を楽しみ、カルガリーのお土産を受け取るロータリー青少年の大集会が含まれています。

私は、皆様が有意義に記念講演、色彩豊かな余興番組、ロータリー業務の履行などが行われる毎日の本会議はもちろんのこと、ロータリー知識を深め、奉仕活動の組織、提携を育む研修会、友愛の家における広範囲に及ぶ有意義な、

ロータリー奉仕の姿を示す各種展示会へも、ご出席になれることを願っております。カルガリーでの毎日が感激と親睦に溢れた日々となりますようにお祈り申し上げます。」



ポール・ハリス・フェロー昼食会の会場は、カルガリー大学構内のオリンピック記念競技場で開かれ、4000名を上回るロータリアンならびにゲストが参加しました。

25日第3回本会議にて、1996年ノーベル平和賞受賞者ベティ・ウィリアム女史の記念講演がありました。女史は、生まれ故郷で、闘争が生む悲惨な犠牲を目撃してから平和活動主義者に変身、その活動が認められ、1996年ノーベル平和賞を受賞されました。

次いで緒方貞子さんへ、1996年度ロータリー国際理解賞が贈呈されました。世界の2700万人にのぼる難民の救済に勇気と慈悲の精神をもっ



て献身しておられることをたたえて贈られたものです。受賞の挨拶の中で、「難民は救済の手を待ちわびている絶望の姿を示しているだけではありません。移民と同じように、政治体制や文化の移植、開発、推進をもたらしている人たちなのです。」と国連の難民救済高等弁務官としての、ご経験を述べられました。この賞は、国際間の善意と平和の増進に模範的な活動あるいは顕著な貢献をされた個人に対してロータリーが贈る最高の栄誉賞であります。

26日、9:30より第4回本会議にて、ジャイ会長エレクトの新年度活動方針についての講演があり、18:00より閉会式が行われ、ブラウン



本会議場前にて（松本ガバナー夫妻）

会長の閉会の辞に続き“Happy Trails”カルガリーさようなら、が、カルガリー交響楽団によって奏でられ、カルガリー聖火の消火、蛍の光の合唱により閉会しました。

ポールハリス・フェロー昼食会では、石川直前ガバナーご夫妻とご一緒でき、又余暇に出かけたカナディアンロッキー・アサバスカ氷河観光では、地区ロータリアンの皆様にお会いして記念撮影をしたり、大変楽しい旅行となりました。

今回の国際大会での経験を、本年度のロータリー活動に生かしてまいりたいと存じますので、よろしくご協力の程お願いいたします。



本会議場（開会式）

国際大会各種行事

○6月23日(日)———大会第1日

国際大会への登録、信任状の査証、
チケット販売、大会SAAの会合
全宗教合同礼拝
大会プログラム・リーダーへの打ち合わせ
ポールハリス・フェロー昼食会
大会開会式（繰り返して2回開催）
第1回本会議

○6月24日(月)———大会第2日

国際大会への登録、信任状の査証、
チケット販売、大会SAA会議
前奏音楽
第2回本会議
会長主催慰労昼食会
家族と地域社会研修会
ホーム・ホスピタリティー

○6月25日(火)———大会第3日

国際大会への登録、信任状の査証、
チケット販売、大会SAA会議
前奏音楽
第3回本会議
ロータリー青少年の大集会
会長エレクト主催リーダーシップ昼食会
家族親睦の大集会

○6月26日(水)———大会第4日

国際大会への登録、信任状の査証、
チケット販売、前奏音楽
第4回本会議
ファミリーフェア
現任および元役員の懇親昼食会
ロータリー研修会
閉会式

1996～'97年度に向けて 国際ロータリー第2760地区協議会

日時／平成8年5月12日(日)

会場／小牧市民会館・名鉄小牧ホテル
小牧商工会議所会館

小牧ロータリークラブのホストにより、石川和昌ガバナー、松本宏ガバナー・ノミニー、犬飼栄輝次期ガバナー・ノミニーのご指導のもと、開催されました。



第2760地区 地区協議会プログラム

次 第	時 間	
登 録	9:30～10:30	
本会議	10:30～	(司会) 実行委員 菊地鐵明
点鐘		地区ガバナー 石川和昌
国歌斉唱		ソングリーダー 丹羽三千夫
ロータリーソング「奉仕の理想」		
開会のことば		実行委員長 石田弘幸
歓迎のあいさつ		ホストクラブ会長 穂積俊文
特別出席者及び地区委員出席者紹介		地区ガバナーノミニー 松本 宏
出席クラブ紹介		実行副委員長 山田善国
地区ガバナーあいさつ		地区ガバナー 石川和昌
新しい年度の目標について		地区ガバナーノミニー 松本 宏
「地区協における研修をクラブで生かすには」	～11:30	地区研修リーダー 田中 徹
諸事お知らせ	11:30～11:35	実行委員 関谷弘志
移動・昼食	11:35～12:50	
分科会	12:50～15:15	
移動・休憩	15:20～15:45	
本会議	15:50～	
ガバナー講評		地区ガバナー 石川和昌
ガバナー引継・記念パッチ進呈		
ガバナーズクラブバナー贈呈		
ガバナーノミニーあいさつ		地区ガバナーノミニー 松本 宏
次期ホストクラブ発表		地区ガバナーノミニー 松本 宏
次期ホストクラブ代表あいさつ		名古屋名東RC次期会長 北村正和
ロータリーソング「手に手つないで」		ソングリーダー 丹羽三千夫
閉会の言葉		実行副委員長 森川邦造
点鐘	～16:30	地区ガバナー 石川和昌

第1分科会

〈会長・幹事部会〉

(参加者) 146名 (会場名) 小牧市民会館 講堂

〈リーダー〉 ガバナー

石川 和 昌

〈アドバイザー〉

1996～97年度ガバナー・ノミニー

松本 宏

1997～98年度ガバナー・ノミニー

犬 飼 栄 輝

〈アシスタントリーダー〉

地区幹事

神 野 紀 郎

次期地区幹事

内 田 栄 一

次期地区会計長

鈴 木 千 里

次期地区監事

鈴 木 亮 三

次期地区資金委員長

杉原彦三郎



石川ガバナーより、会長幹事の心がまえより、事業計画をたてる注意事項など話されました。

松本ガバナー・ノミニーより、ルイス・B・ジアイ会長のテーマ、築け未来を、行動力と先見の眼で、について説明があり、特に新しい若い会員の増強、会員の定着に努力してほしいと、力が入っていました。

内田次期地区幹事から、会長賞エントリーについて、また公式訪問について詳細に説明がありました。

鈴木次期地区会計長より、地区資金予算書と地区特別会計予算書の説明があり、承認されました。

その後、熱心な質疑応答が、交わされました。

第2分科会

〈クラブ奉仕・会員増強部会〉

(参加者) 151名 (会場名) 名鉄小牧ホテル 鳳凰中・北

〈リーダー〉

吉 村 太 郎

次期地区クラブ奉仕委員長

〈アドバイザー〉

パストガバナー(次期地区クラブ奉仕カウンセラー)

宮 地 信 尚

パストガバナー(次期地区会員増強カウンセラー)

蜂 谷 弘 道

〈アシスタントリーダー〉

次期東三河分区分代理

石 川 孝 司

次期地区拡大委員長

鈴 木 孝 平

次期地区会員増強委員長

上 野 山 通

次期地区広報委員長

赤 井 和 久

次期ロータリーの友委員長

小 栗 孝 久

次期クラブ奉仕副委員長

加 藤 肇 吾



吉村次期クラブ奉仕委員長より、次年度のRI、及び当地区の方針の要点と、クラブ奉仕委員会の概念について話があり、その中でクラブ奉仕委員会は、クラブ活動の土台となる基盤づくりが最大の役割であることを強調された。また、松本ガバナー・ノミニーが要望された「実践するロータリー・プラスワン」に従い、クラブ奉仕委員会としては、次代を担う新世代を重視した拡大・会員増強を要請されました。

引き続き、アドバイザー・アシスタントリーダーの各氏より夫々約15分に亘って担当部門の指針が示されました。特に会員増強に当って、常に問題になる量と質について、上野山氏より「量は質にかわり質は量を伴う」と表現されたのが印象に残りました。その後、質疑応答に移り、主として女性会員の入会について熱心な討議がされ、最後に宮地アドバイザーより、一人でも多くの女性会員が入会されるよう希望すると述べられ、閉会となりました。

第3分科会

〈職業奉仕部会〉

(参加者) 76名

(会場) 小牧商工会議所会館 4F(西)大会議室

〈リーダー〉

次期地区職業奉仕委員長

岡本 纒二

〈アドバイザー〉

パストガバナー(次期地区職業奉仕カウンセラー)

福田 浩三

〈アシスタントリーダー〉

次期西三河第二分区分代理

小出 和巳

次期名古屋第二分区分代理

古川 善次郎

次期地区職業奉仕副委員長

荒木 滋



司会進行は次期職業奉仕委員長の岡本纒二氏が兼務されるなか、古川分区分代理の開会の言葉で始まりました。

最初に『職業奉仕とは』のテーマで次期職業奉仕委員長の岡本纒二氏がお話をされました。私は職業奉仕のために早退するんだ、とか職業奉仕のために遅刻したんだと言う話を聞いたことがあります、これは絶対におかしいと言うことを申し上げたいと前置きされ、昭和48年に神守源一郎パストガバナーが書かれた書籍を紹介しながらロータリーの理念との整合性のなかでの職業奉仕のあり方をわかりやすくお話しされました。

続いて小出分区分代理、古川分区分代理、荒木副委員長、福田パストガバナーより職業奉仕についてのお話をいただきました。

その後、質疑応答に入り職業奉仕の考え方について多くの質問が出され熱心な意見交換がされました。

第4分科会

〈社会奉仕・環境保全・RCC部会〉

(参加者) 145名 (会場名) 小牧市民会館大ホール

〈リーダー〉

次期地区社会奉仕委員長

上村 晋也

〈アドバイザー〉

パストガバナー(次期地区環境保全カウンセラー)

奥谷 博俊

〈アシスタントリーダー〉

次期尾張第一分区分代理

森岡 秀夫

次期地区社会奉仕副委員長

花井 文雄

次期地区環境保全(小)委員長

石川 顕次

次期地区RCC(小)委員長

伊藤 洵二



先ず、パネリストの発言がありまして、森岡秀夫・次期尾張第一分区分代理が、奉仕とは授けるのではなくて授けさせて戴く、相手を尊重してするのが奉仕の真意であると言われました。

次に花井文雄・次期地区社会奉仕副委員長は奉仕活動の理解の為に「奉仕」の元の言葉「Service」の意味を考えると理解が早いと思います。サービスは無料・有料を問わないハンドサービス・マネーサービス・提唱提案・啓蒙などのやり方があると言われました。

次に石川顕次・次期地区環境保全(小)委員長は、環境保全とロータリーとどの様に結びつけていくべきか?非常に幅が広い問題で地域の環境の質の調査改善をする様に、心を配る事が必要であると言われました。

最後に奥谷博俊パストガバナー(次期地区環境保全カウンセラー)が社会奉仕についてロータリーの本物の精神というのは、超我的奉仕であり、ロータリーとは物質的・金銭的な奉仕団体であるのとらえる人が多いが、本当の奉仕はRCCを進めていけば地域のロータリーに対する考え方が、変わってくると述べられました。

第5分科会

〈国際奉仕部会〉

(参加者) 76名 (会場名) 名鉄小牧ホテル4F 桐・葵

〈リーダー〉

次期地区国際奉仕委員長

〈アドバイザー〉

パストガバナー(次期地区国際奉仕カウンセラー)

〈アシスタントリーダー〉

次期名古屋第一分区分代理

次期地区国際奉仕副委員長

次期地区青少年交換(小)委員長

次期地区WCS(小)委員長

次期地区国際友好(小)委員長

吉村 功一郎

盛田 和昭

各務 芳樹

松原 忠久

林 光雄

鶴田 欣也

中野 博三



吉村次期委員長より「国際奉仕活動とは何か」について説明があり、国際理解と平和の推進の重要性を認識しての活動方針が示されました。

続いて青少年交換、世界社会奉仕、国際友好の各小委員長から、それぞれの活動方針が説明され、それを受けての質疑応答が熱心に行われ内容の濃い分科会でありました。

最後に盛田パストガバナー、各務次期名古屋第一分区分代理より講評があり、過去のロータリー活動と現在のロータリー活動の相違点を述べられ、警鐘を鳴らされると共に来年度一年間で何か一つでも実行に移して頂きたいと述べられ終了しました。

第6分科会

〈青少年活動・IAC・RAC・ライラ部会〉

(参加者) 103名

(会場名) 名鉄小牧ホテル3F 鳳凰南

〈リーダー〉

次期地区青少年活動委員長

〈アドバイザー〉

パストガバナー(次期青少年活動カウンセラー)

パストガバナー

〈アシスタントリーダー〉

次期西三河第一分区分代理

次期地区青少年活動副委員長

次期地区インターアクト(小)委員長

次期地区ローターアクト(小)委員長

次期地区ライラ(小)委員長

加藤 正男

加納 泉

神戸 政治

森 順次

鈴木 孝則

坂本 康信

石川 敬

野村 重彦

鈴木青少年活動副委員長の司会により、分科会は開催されました。

最初に青少年活動について加納、神戸両パストガバナーより興味深い話をされました。続いて青少年活動の重要性について加藤委員長よりお話があり、その中でRI会長ジアイ氏が青少年の育成について考えて欲しいと述べられていることを紹介されました。

また、各クラブで行っている青少年活動の上にさらに一つの活動を積み重ねて頂けるよう述べられました。すなわちインターアクト、ローターアクトの育成についてであります。その後I.A.Cについて坂本氏よりビデオにて説明があり、R.A.Cについて石川氏、RYRAについて野村氏よりお話しがありました。

最後にまとめが加藤委員長よりあり盛会のうちに幕がおりました。



第7分科会

〈ロータリー財団部会〉

〔参加者〕75名（会場名）名鉄小牧ホテル3F 孔雀

〈リーダー〉

次期地区ロータリー財団委員長

矢島 茂

〈アドバイザー〉

バストガバナー(次期地区ロータリー財団カウンセラー)

高沢 隆

〈アシスタントリーダー〉

次期西尾張分区分代理

酒井 孝

次期地区ロータリー財団副委員長

鈴木 茂雄

次期地区財団奨学金(小)委員長

長谷川二郎

次期地区財団学友会(小)委員長

梅村 東

次期地区ポリオプラス(小)委員長

黒谷 尚弘



高沢バストガバナーより挨拶があり、矢島次期地区ロータリー財団委員長より、ロータリー財団の組織や活動状況の説明があり、次年度は、50周年目の奨学年度になりますので、よろしくお願いしますとのことでした。

ロータリー財団としてお金を集める方法はいろいろ利用しやすい方法で、多くの人に御協力願いたいので十分理解してお願いして下さい。特に年度、年度平均的に協力してほしいと、言われました。また、各アシスタントリーダーより、奨学生募集についても、複雑な所があり、十分理解してほしいこと、地区財団学友会には、224名の留学生の体験者の名簿が、登録されていますので御利用もよろしくお願いしますとのことでした。

ポリオプラスは、2000年にポリオ根絶運動の現況説明があり、何とか目標が可能に近づきつつあると報告がありました。その後、質疑応答が、活発に交わされました。

第8分科会

〈米山記念奨学会部会〉

〔参加者〕69名

〔会場名〕小牧商工会議所会館4F (東)大会議室

〈リーダー〉

次期地区米山記念奨学会委員長

小田 公平

〈アドバイザー〉

バストガバナー(次期地区米山記念奨学会カウンセラー)

田中 徹

〈アシスタントリーダー〉

次期東尾張分区分代理

伴野 富三

次期地区米山記念奨学会副委員長

天野 久



田中アドバイザーより、本部の現況報告の後、小田リーダーより、世界各国の私費留学生に援助の手を差し伸べ、日本の学術や技術を学び、又日本の文化を研究し、故国の指導的役割を果たす前途有益な青年になる事を期待するこの米山記念奨学会は、世界でも例のない組織であり、日本で最も素晴らしい制度であると同時にロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与する目的を留学生を通じて大いに役立っていると説明され、一人でも多くの奨学生を受入れるべく普通寄付金を一人当たり3,500円以上に増額願いたいと、要望が出されました。

各クラブ共、密度の高い活動を展開する事を確認して閉会しました。



国際ロータリー 第2760地区協議会 スナップ集



第2760地区ニュース・その他

R.C.C. (小) 委員長



平 松 富 治

昭和15年 3月11日生

豊橋R.C

正会員

平松工業(株)代表取締役社長

1984. 6 豊橋R.C入会

1995~1996 RCC(小)副委員長

地区RCC小委員長 伊藤洵二氏(名古屋中RC会長・元地区幹事)には、6月22日急逝されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。故伊藤委員長に代わりまして、新しく平松富治氏(豊橋R.C)をお願いをし、ご就任いただきましたのでご報告申し上げます。平松氏は昨年副委員長としてご活躍されました。

新任地区委員のご紹介

欠員のありました地区広報委員に小川辰男氏(名古屋名東R.C)、同RCC(小)委員に河村八郎氏(名古屋中R.C)を選任いたしましたのでご紹介申し上げます。

○小川辰男 (名古屋名東R.C)

自宅住所 〒480-11

愛知郡長久手町長湫野田農33-20

TEL 0561-63-2188

FAX 0561-63-2188

会社住所 (株) CBCテレビ映画社

代表取締役社長

〒460

名古屋市中区新栄1丁目2-8

TEL 052-241-5503

FAX 052-241-5590

○河村八郎 (名古屋中R.C)

自宅住所 〒467

名古屋市瑞穂区松園町2-40-2

TEL 052-833-4698

FAX 052-833-4698

会社住所 (株) 清水多平商店 専務取締役

〒460

名古屋市中区大須1-26-41

TEL 052-201-4421

FAX 052-231-5440

事務局移転のご案内

田原ロータリークラブ

移転日 平成8年7月1日(月)

移転先 〒441-34

渥美郡田原町巴江12-1

華山会館 3階

TEL 05312-2-0831

FAX 05312-3-1216

例会場移転のご案内

知多ロータリークラブ

移転日 平成8年8月より

移転先 〒478

知多市朝倉町299

(株)じろきん本店

TEL0562-33-5404

日本のロータリーを海外に知らせる最も良い贈り物

「ロータリーの友」英語版

“THE ROTARY-NO-TOMO”

新年度版 ご注文受付中!!

本年度は第45号誌(冬号)を11月1日に、第46号誌(春号)を来年4月1日に刊行の予定です。

□掲載記事内容

「ロータリーの友」誌より海外向けにふさわしい記事を編集転載。また、日本の地区別ロータリー地図と全クラブの例会日一覧表、その他日本の文化、社会、経済および一般事情の紹介記事を掲載。

代金は1口分(第45号誌と第46号誌を各1冊、合計2冊)1,000円(消費税別、国内送料共)です。

□海外代行郵送もいたします

先方のご住所、ご氏名をいただければ、代行郵送もいたします。国際奉仕の一助としてぜひご活用下さい。なお、海外送料は実費で請求させていただきます。



1998～'99年度 ガバナー・ノミニー候補者の推薦について

国際ロータリー第2760地区指名委員会は各クラブに対し、次の通り1998～'99年度(犬飼年度の翌年度)ガバナー・ノミニー候補者指名案の提出を要請致します。

提案は、候補者推薦クラブの例会で選択され、クラブ幹事によって正式に証明された決議という形式で提出して下さい。

尚、推薦クラブの他、地区内5クラブの推薦を必要としますので、この点特にご注意願います。

詳細は、R.I.細則第12条第7節をご参照下さい。

・1996～'97年度 地区指名委員会メンバー
地区指名 委員長 神戸政治 (P.D.G)
" 副委員長 宮地信尚 (P.D.G)
" 委員 蜂谷弘道 (P.D.G)
" " 石川和昌 (P.D.G)
" " 加納 泉 (P.D.G)

[送付先]

〒475 半田市銀座本町1-1-1

半田商工会議所2階

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 杉本 宏

[締切り]

1996年8月31日 必着

文庫通信

(第106号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万7千余点を収録・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスもあります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下の資料を紹介いたします。

☆新年度に向けて その1 ☆

◎「手続要覧」 R.I. 1995年 316頁

[申込先 サービス・センター TEL(03)3355-5391]

◎「ロータリアン必携～1ロータリーの概観 2

奉仕への献身 3ロータリー財団」 R.I.

1995年 58,76,53頁

[申込先 サービス・センター TEL(03)3355-5391]

◎「奉仕の機会 1996-97年度版」 R.I.

1995年

[申込先 サービス・センター TEL(03)3355-5391]

◎「ロータリー入門書」 前原勝樹 1996年 170頁

[申込先 北斗事業出版 TEL(03)3811-4350]

◎「ロータリー役員必携」 石井省三 1995年 314頁

[申込先 イシイ出版(株) FAX(0277)22-4180]

◎「ロータリーの手引」 D.2750 1996年 42頁

[申込先 D.2750 FAX(03)5473-7538]

◎「My friend」 D.2770 1996年 213頁

[申込先 タナカ マイフレンド係 TEL(0489)97-7621]

◎「ロータリーQ&A-200の設問と回答」 旭川西R.C. 1996年 63頁

[申込先 旭川西R.C. TEL(0166)25-1551]

◎「ロータリー情報集」 熊本グリーンR.C. 1996年 281頁

[申込先 熊本グリーンR.C. TEL(096)354-4521]

◎「新会員のためのロータリー用語集」 福岡R.C. 1996年 45頁

[申込先 福岡R.C. TEL(092)741-3806]

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3abc館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝日

随 想 募 集

只今、ガバナーズライター編集室では随想の原稿を募集しております。どしどしと原稿をお送り下さい。

- テーマ 「我が街あれこれ」
- 原稿枚数 400字詰め原稿用紙3～4枚
- 写真 現在の顔写真1枚
街の写真2枚位
- 送付先 ガバナー事務所月信編集係

表紙のこゝば

知多半島の中央部東側に位置する半田市は、歴史と文化の街として発展してきました。

江戸時代の面影を残す「蔵の街」
春に華やかな山車を引き回す「山車祭り」
暖かい童話や文学作品を数多く生み出した
「新美南吉の生家」

など歴史と文化が探訪できる街「半田」を、テーマカラーレンガ色をバックにイラストで表現しました。

(蔵の街)

半田市は江戸時代に海運業が最も開け、尾張藩所属の「丸八」の船印を押して、江戸・大阪から瀬戸内まで活躍していたと言われていす。その海運業が盛んだった頃が偲ばれるのが白壁造りの土蔵や黒板囲いの蔵です。

(山車祭り)

毎年3月下旬の乙川地区の祭礼から始まって岩滑、板山、成岩、協和、半田地区へと4月上旬から中旬頃に最高潮になり、5月初旬の亀崎の潮干祭りで山車祭りの幕はおります。総数31台の山車があります。

来年10月、全車の揃うはんだ山車祭りが、開催されます。

(新美南吉)

大正2年に現在の半田市岩滑に生まれ、29年の短い生涯の間に童話、詩などを数多く残しました。「おじいさんのランプ」「ごんぎつね」などの童話は全国的に有名です。

ガバナー事務所及び スタッフのご案内

事務所 〒475 愛知県半田市銀座本町1-1-1
半田商工会議所 2階

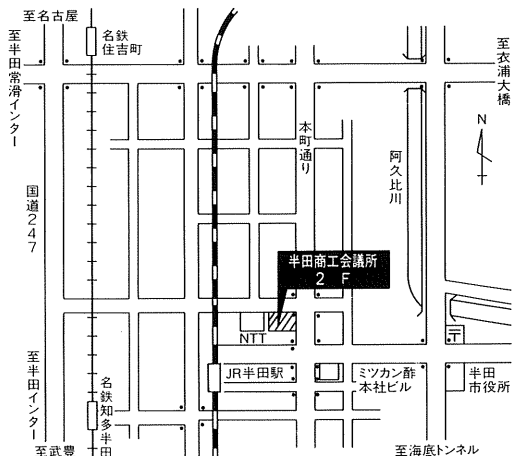
TEL 0569-26-3800

FAX 0569-26-3840

執務時間 午前9時30分～午後4時
土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。尚、休務日は留守番電話が設置してあります

スタッフ 地区幹事 内田栄一
地区副幹事 杉浦三郎、竹倉鍵治
前田捷彦、山田 達
地区会計長 鈴木千里
地区会計監事 鈴木亮三
地区補佐 山内和之、関 明生
事務局員 前田博美、小栗真子

お近くへおいでの節は是非ともお立ち寄り下さいますようご案内申し上げます。



〔名鉄知多半田駅より徒歩10分
知多半島道路半田常滑インターより車で15分
知多半島道路半田インターより車で15分〕